

表 6・1 令和 6 年度事業報告（その 1）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
公 1・編集出版事業 有機合成化学協会誌 第 82 巻第 1 号～12 号(12 冊)、発行部数 4,300 部、総頁数 1,360 頁 普通号 10 回；特集号 2 回(第 5 号「分子設計・編集・合成化学のイノベーション」；第 11 号 Special Issue in English) 掲載内容：巻頭言 12 頁(12 件)、総説 31 頁(2 報)、総合論文 751 頁(68 報)、Review de Debut 21 頁(10 報)、 ラウンジ 50 頁(6 報)、ケミカルズ覚え書き 4 頁(1 報)、十字路 11 頁(44 件)、感動の瞬間・MyPR 55 頁(14 報)、新しい 合成 38 頁(150 件)、会告・協会記事等 265 頁、広告 110 頁 (独)科学技術振興機構が運用する電子ウェブサイト(J-STAGE)に 2024 年度分を掲載。なお、新企画「Spotlight Archives」として「有機触媒化学：黎明期の研究から最新の成果まで」と「有機電解反応/合成」を公開した。 単行本の編集・出版 「有機化学実験の手引き／1988 年出版・化学同人」有機合成化学協会編；化学同人（刊行日未定） 公 1 関連会議 有機合成化学協会誌編集委員会(2/1, 3/15, 7/30, 9/13, 11/22)化学会館・オンライン併用； (5/27)化学会館	
公 2・研究会事業 シンポジウム【本部】 第 124 回有機合成シンポジウム；6/27-28；北海道大学フロンティア応用科学研究棟レクチャーホール （鈴木章ホール）ほか 【受賞講演】2023 年度有機合成化学協会賞（技術的なもの） COVID-19 治療薬エンシトレビルの実用的製造法の開発（塩野義製薬）釣谷孝之、木嶋昭仁、福井伸 明、柳澤周一、安倉和志、笠松幸司 【受賞講演】2023 年度企業冠賞 ・「カネカ・生命科学賞」分子創製に基づく RNA 研究の展開（名大院理）阿部洋 ・「東ソー・環境エネルギー賞」環境問題に貢献する天然物合成（徳島大院医歯薬）難波康祐 ・「富士フイルム・機能性材料化学賞」機能性有機蛍光色素の合成とデバイスおよび分子イメージングへの応 用（東工大物質理工）小西玄一 口頭発表 40 件；ポスター発表 43 件 合計 83 件 優秀ポスター賞 4 件表彰 共同主催：北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター、共催：日本化学会、日本 薬学会、後援：日本農芸化学会 第 125 回有機合成シンポジウム；11/7-8；早稲田大学国際会議場 【受賞講演】2023 年度企業冠賞「日産化学・有機合成新反応／手法賞」 非共有結合性相互作用を活用する位置選択的な炭素-水素結合変換反応の開発 （九大先導研）國信洋一郎 【特別講演】 単純窒素ユニットの導入にこだわって：二刀流的 N 試剤の開発（阪大院工）南方聖司 オーラル&ポスター発表 39 件；ポスター発表(ショートプレゼンテーション有り)30 件 合計 69 件 最優秀発表賞 1 件；優秀発表賞 4 件表彰 共催：日本化学会、日本薬学会、早稲田大学理工学術院総合研究所、後援：日本農芸化学会	
シンポジウム【北海道支部】 第 36 回万有札幌シンポジウム；7/13；北海道大学・オンライン併用 1.化学選択性の触媒制御への挑戦、そしてデジタル有機合成へ（九大院薬）大嶋孝志 2.近赤外 2 光子(2P)応答性光アンテナ部位の設計、合成、および、生理学実験への応用（広島大院 先進理工）安倍学 3.動的キラリティ誘起と不斉増幅を特徴とするキラル高分子触媒（京大院工）杉野目道紀 4.生物活性多環式天然物の不斉全合成（早大理工）中田雅久 5.生物活性分子のイメージングと標的同定のための化学（理研）袖岡幹子 ポスター発表 21 件；主催：万有札幌シンポジウム組織委員会	

表 6・2 令和 6 年度事業報告 (その 2)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【北海道支部】のつづき	
日本化学会北海道支部夏季研究発表会；7/20；北見工業大学 主催：日本化学会北海道支部	-(-)
若手研究者のための有機化学札幌セミナー；10/31；北海道大学薬学部 1.画像機械学習を活用した化学研究への展開（北大 ICReDD）井手雄紀 2.STAT3 阻害天然物 Phaeosphaeride A のケミカルバイオロジー研究(北海道医療大薬)平山裕一郎 3.触媒・反応ツールの開発が拓く臭素化の科学（北大触媒研）浅野圭佑 4.天然物合成を基盤とする幅広い有機合成化学（北里大薬）大多和正樹 5.元素特性を活かした金属カルベノイド種の分子変換反応（北大院理）岡本和紘	154(128)
シンポジウム【東北支部】	
第 35 回万有仙台シンポジウム；5/18；東北大学百周年記念講堂川内萩ホール・オンライン併用 ・分子触媒の新手：フラストレーションを制御する機能の探求（阪大院工）星本陽一 ・金属錯体で創る光合成反応触媒（阪大院工）正岡重行 ・新規有機材料開発から製造プロセス革新まで～四半世紀にわたる私の研究変遷～（産総研）甲村長利 ・日本発の環状ホスト分子「Pillar[n]arene」：発見から分子空間化学への展開（京大院工）生越友樹 ・自然免疫受容体発見から四半世紀：微生物由来活性分子の有機化学（慶大理工）藤本ゆかり ・キラル分子触媒の設計と機能探索：25 年の変遷（京大院理）松永茂樹 ポスター発表 21 件；主催：万有仙台シンポジウム組織委員会	380(274)
令和 6 年度化学系学協会東北大会；9/14-15；秋田大学手形キャンパス 有機化学関連ポスター発表 74 件	485(295)
有機化学コロキウム；9/14；秋田大学手形キャンパス；学協会東北大会と併催 ・Stereoselective synthesis of heterocyclic natural products with silver ionmediated cyclization（東北医薬大薬）渡邊一弘 ・多環性芳香族アルカロイド配糖体ルブロン A の合成研究（秋田大院理工）藤原憲秀 ・Synthetic Study for Cyclic Peptide Natural Products: Total Synthesis and Structure Determination of Decatransin（東北大院薬）土井隆行	100(-)
仙台地区秋の講演会；10/19；東北大学理学部大講義室・オンライン併用 1.超原子価ヨウ素の新しい反応・合成・構造有機化学（東北大院薬）吉戒直彦 2.富士フィルムの挑戦を支える素材技術―主力事業の喪失と新規事業の創出―(富士フィルム)大林達彦 3.未踏炭素機能科学をめざして（理研）伊丹健一郎	165(115)
第 39 回有機合成化学若手研究者のための仙台セミナー；12/21； 東北大学理学部大講義室・オンライン併用 ＜15 分講演＞ 久保田圭亮（東北大院理），三島祐悟（東北大院生命）， Mohamed Osama（東北大院薬），二瓶聖河（東北大院理），大城彩里（東北大院薬）， 佐藤瞭（東北大院農），笹本大空（東北大院薬） ＜ショートトーク＞ 鷹見優月（東北大院薬），宮内元睦（東北大院工），韓暁雷（東北大院理）， 菅野雄亮（東北大院薬），法月健真（東北大多元研），栗田駿之介（東北大院理）	144(113)
シンポジウム【関東支部】	
第 86 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(野田シンポジウム) 5/18；東京理科大学野田キャンパス；特別講演 2 件，一般研究発表 60 件 1.インジウム化合物の活性化を利用した還元的分子変換反応の開発（東理大創域理工）坂井教郎 2.天然物合成，ななころびやおき（東工大理）大森建	202(122)
第 87 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(前橋シンポジウム) 11/30；前橋市中央公民館；特別講演 2 件，一般研究発表 48 件 1.ポリ(ジメチルシリレン)から炭化ケイ素への反応解析（特殊無機材料研究所）久新荘一郎 2.高原子価ヨウ素を活用する有機合成と天然物合成への応用（東農工大院工）長澤和夫	120(65)

表 6・3 令和 6 年度事業報告（その 3）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【関東支部】のつづき	
若手研究者のためのセミナー；7/29；化学会館 1.全室素糖を有する配糖体の合成と生物活性評価/光励起型ニトロアレーン還元法の開発（慶大理工）岡村俊孝 2.医薬品の製造プロセス開発におけるハイスループット実験/計算化学/情報科学の活用（アステラス製薬）角居雄太 3.生物活性フラボノイドの網羅的合成法の開発と応用（筑波大国際統合睡眠医）須貝智也 4.Grignard 反応の革新を目指して（東大院薬）三ツ沼治信 5.フルオロアルコール溶媒の特性を活用した有機合成反応（武蔵野大薬）牧野宏章 6.C 型レクチン受容体 Mincle 複合脂質リガンドおよび標識プローブ分子合成と機能（慶大理工）松丸尊紀	47(19)
第 40 回有機合成化学セミナー；9/18-20；アートホテル新潟駅前 【招待講演】 1.光による電子操作を利用する電子触媒クロスカップリング反応（関西学院大生命環境）白川英二 2.最先端構造解析プラットフォーム(MicroED)を活用した各種ナノクリスタルの構造解析事例（スベラファーマ）中井啓陽 3.多環式天然物の合成研究（名大院創薬科学）横島聡 4.隣接基協働効果の発現による未踏の樹脂分解触媒反応の追求と効率的なケミカルリサイクルへの展開（東大院工）野崎京子 5.Janus Kinase (JAK)阻害薬 Delgocitinib の創製（日本たばこ産業）野路悟 6.炭素及び窒素陽イオンの有機化学における新機軸（神戸学院大薬）国嶋崇隆 7.光駆動ラジカル反応の触媒的な制御（名大トランスフォーマティブ生命分子研）大井貴史 【令和 5 年度有機合成化学協会奨励賞】受賞講演 1.精密有機合成を基盤とした革新的発光機能分子の開拓（横浜国大院工）伊藤傑 2.有機合成化学的アプローチによるアプロニン A の生物有機化学研究（筑波大数理物質）大好孝幸 3.水中特異的な有機反応の開発（東大院理）北之園拓 4.極性転換型の反応剤を活用する官能基導入（阪大院工）清川謙介 5.基質支配に基づく新規ペプチド結合形成反応の確立とその展開（中部大先端研究センター）服部倫弘 【2024 Mukaiyama Award】受賞講演 1.Synthesis through the lens of informatics (Scripps Research, USA) Ryan A. Shenvi 2.芳香族ケトンの脱アシル化・脱酸素化・芳香環交換反応（早大理工）山口潤一郎 【2024 Lectureship】受賞講演 1.Combining Synthetic Chemistry and Biology for Streamlining Access to Complex Molecules (Rice University, USA) Hans Renata ポスター発表：84 件；共催本部	241(103)
シンポジウム【東海支部】	
有機合成セミナー；11/18；信州大学 1.多点認識型含窒素複素環カルベ ン(NHC)の開発と触媒的不斉反応への展開（金沢大）添田貴宏 2.グリコシルホウ酸塩を用いたアリアル C-グリコシド合成法の開発（慶大）東林修平 3.標的細胞の生理機能を操る遺伝子指向性ケージド化合物の設計と合成（東邦大）古田寿昭	44(36)
若手研究者のためのセミナー；7/12；三重大 【支部奨励賞受賞講演】 1.医薬資源合成の効率化を志向したアルケン及び C(sp³)-H 結合のヘテロ官能基化反応の開発（静岡県大）山下賢二 【招待講演】 1.芳香族アミン化合物における電荷／スピンの局在・非局在化（三重大）伊藤彰浩 2.1,3-双極子を活用する非協奏的反応経路の複素環構築（金沢大）宇梶裕	40(33)
第 55 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会；11/2-3；名古屋工業大学	525(337)

表 6・4 令和 6 年度事業報告（その 4）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【東海支部】のつづき	
第 55 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会；11/2-3；名古屋工業大学 【特別討論会】「持続可能な有機化学の探求」 ＜招待講演＞ 1.樹脂分解のための触媒開発（東大）野崎京子 2.複雑分子の精密改変による機能性分子の開発（九大）丹羽節 ＜依頼講演＞ 1.ドミノ反応を活用した含窒素ヘテロ環合成法の開発（三重大）八谷巖 2.元素・結合・反応場の特性を活用する反応と分子の設計（静岡県大）滝田良 3.ハロゲンによる元素置換戦略：新たな機能性有機分子の創成をめざして（分子研）榎山儀恵 4.未踏炭素骨格の構築法開発と機能開拓（名大）八木亜樹子 発表件数 16 件	120(-)
総合講演会；12/5；静岡大学 1.高色純度・高耐久性有機蛍光体の開発と応用（東レ）市橋泰宜 2.新しい薬の可能性を開く核酸医薬（持田製薬）北川英俊 3.多機能光触媒の創製と応用（名大）大井貴史	122(116)
シンポジウム【関西支部】	
第 44 回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」(若手研究者のためのセミナー)；8/1； 大阪公立大学杉本キャンパス 1.CO₂ 光還元を実現する有機分子触媒の開発（神戸大院理）松原亮介 2.環歪みと互変異性を利用した含窒素ヘテロ環合成（京都工繊大分子化学）安井基博 3.嵩高い芳香環の密集による高反応性化学種の安定化と機能発現（阪大院理）西内智彦 4.動的反応化学の新展開（立命館大生命科）五月女宜裕 5.研究者と特許 切っても切れない関係～有機合成研究者に向けて～（田岡化学）山田正宏 6.前駆体法を利用した芳香族機能性材料の合成研究（京大化研）山田容子 発表件数（ポスター）84 件	164(117)
2024 年度有機合成化学北陸セミナー；9/27-28；黒部市ふれあい交流館あこやーの 1.論より証拠！混ぜてナンボ！（京都府大院生命環境）椿一典 2.低分子化合物の高度化研究：環状ケイ素化合物新規合成法の開発とその生物活性（阪大院薬）有澤光弘 3.日本触媒が有する独自アクリル系モノマーの合成とそれを鍵とするポリマー材料の展開（日本触媒）米原宏司 発表件数（口頭）11 件；（ポスター）76 件	164(125)
シンポジウム【中国・四国支部】	
若手研究者のためのセミナー（第 38 回若手化学者のための化学道場）；9/27-28；国立淡路青少年交流の家（世話人：徳島大学） 【特別指南講演】 基質認識型有機分子触媒の創成～酸触媒から塩基触媒へ～（東北大）寺田眞浩 【師範講演】 1.新規多座ホスフィン配位子を用いた金属触媒の開発（愛媛大）太田英俊 2.錯体化学のアイデアを取り入れた有機エレクトロニクス材料の開発（香川大）田原圭志朗 3.反応機構解析に基づく選択性予測および触媒デザイン（岡山大）山崎賢 4.歯科材料の技術と有機化学と高分子の関わり（高知大）坂本猛 5.ポリアザヘリセンの簡便合成法の開発（阿南高専）大谷卓 6.細胞骨格「微小管」の人工制御を可能とするペプチド設計（鳥取大）稲葉央 7.化学の力で遺伝情報をコードする（徳島大）田良島典子 8.オルガノハロゲンクロミズムの解明と機能性色素材料の創成（広島大）大山陽介 学生発表件数 35 件	76(57)

表 6・5 令和 6 年度事業報告（その 5）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【九州・山口支部】	
第 36 回若手研究者のためのセミナー；8/31；九州大学病院キャンパスコラボ・ステーション I 特別講演 1 件 光誘起電子移動反応を鍵とする NO 放出剤の開発と応用（名市大院薬）中川秀彦 招待講演 1 件 多彩にして多才なカビやキノコの酸化酵素（九大院農）一瀬博文 受賞講演（ポスター賞）9 件；企業紹介 2 件	83(58)
講習会【本部】	
2024 年度 有機合成化学講習会；12/5；ワイム貸会議室御茶ノ水 テーマ：「企業における有機合成化学：理念・製品化・ブレイクスルー」 1.新農薬開発を目指した戦い（日本曹達）三谷晃 2.低中分子医薬品開発におけるプロセス化学の役割と挑戦（中外製薬）前田賢二 3.半導体レジスト材料セルグラフィー(R)の開発と工業化,そしてさらなる分子設計への取り組み（ダイセル）大野充 4.ペプチド・オリゴ核酸医薬の効率的製法 AJIPHASE®技術の開発と CDMO としての事業領域開発（味の素）高橋大輔 共催：日本化学会,日本薬学会,後援：日本農芸化学会	31(0)
「AIと有機合成化学」研究部会 第 13 回勉強会；7/25；ワイム貸会議室お茶の水・オンライン併用 1.大規模言語モデルの実験化学・有機材料化学での活用検討（東工大物質理工）畠山欽 2.化学における AI・シミュレーション活用のトレンドと汎用原子レベルシミュレーター：Matlantis を使った素材開発（Preferred Computational Chemistry）浅野裕介	97(3)
「AIと有機合成化学」研究部会 第 14 回勉強会；10/17；ワイム貸会議室お茶の水・オンライン併用 テーマ「ケモインフォマティクス・ハンズオン講習会」 講師；大上雅史（東京科学大情報理工）；1.講義, 2.実習	73(6)
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第 11 回勉強会；7/23；化学会館 1.光ゲノム編集を可能とする人工核酸の開発と物質共生（東工大生命理工）山吉麻子 2.機能性人工核酸の開発と核酸医薬研究への応用（阪大院薬）小比賀聡 3.受動的細胞膜透過能をもつ生体中分子のデザイン（に向けた試行錯誤）（東大院工）山東信介	41(0)
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第 12 回勉強会；10/7；東北大学青葉山キャンパス 【見学の部】 次世代放射光施設 NanoTerasu（ナノテラス） 【講演の部】 1.放射光で解く機能・構造相関：分子設計への貢献（東北大多元研）南後恵理子 2.RNA 創薬を加速する LNP 技術：細胞内環境に応答する DDS のデザインと応用（東北大院薬）秋田英万 3.生体機能制御を可能とする人工分子の有機合成とその機能評価（東北大多元研）永次史	32(2)
講習会【東北支部】	
青森地区講演会；10/31；弘前大学創立 50 周年記念会館みちのくホール 1.基質認識型有機分子触媒の創製～酸触媒から塩基触媒へ～（東北大院理）寺田眞浩	96(92)
秋田地区講演会；12/4；秋田大学理工学部 4 号館 328 教室 1.新しい重縮合反応による芳香族高分子合成（秋田大院理工）松本和也 2.ステロイド系天然物の合成とその先の展開（岩手大院理工）中崎敦夫	47(44)
講習会【関西支部】	
有機合成 2 月セミナー“有機合成のニュートレンド 2024”；2/5；大阪科学技術センター 1.機能創発を指向した化学空間探索研究（金沢大医薬保健）平野圭一 2.リーシュマニア症の原因寄生虫に効果のある天然物の全合成：歪みのある三員環の構築と応用（京大院農）塚野千尋 3.天然物による翻訳後修飾依存的な蛋白質間相互作用の操作（信州大院農）大神田淳子	61(28)

表 6・6 令和 6 年度事業報告（その 6）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
講習会【関西支部】のつづき	
前ページのつづき 4.フッ素ガスを用いた有機合成による機能性材料の創生（京大院工）秋山みどり 5.セルロース溶解性イオン液体の開発（広栄化学）今泉暁 6.多元素合金触媒を用いた高難度分子変換：低級アルカンと CO₂ の同時活性化（阪大院工）古川森也 7.Synthesis-Enabled Drug Discovery -The Case of Delgocitinib Discovery（JT 医薬総合研）塩崎真	
有機合成夏期セミナー“明日の有機合成化学”；9/3；大阪科学技術センター 1.合成困難・難溶性の克服への挑戦（名大 ITbM）八木亜樹子 2.工業生産に向けた酵素プロセス開発と AI による変革（カネカ）加藤祐章 3.エピジェネティクス制御を目的とした新規化学プローブの創製研究（長崎大生命医）薬師寺文華 4.日本発の柱型環状分子「ピラー[n]アレーン」：機能性分子空間材料への展開（京大院工）生越友樹 5.擬糖鎖の創製：ホンモノそっくりのバッチもんを創り出す科学（九大院薬）平井剛 6.生体内合成化学治療（東工大物質理工）田中克典 7.計算と実験の協働による環境調和型カルボン酸合成技術の高速開発（日本触媒）岡田雅希	70(26)
懇談会【本部】	
2024 新春特別フォーラム；1/17；ワイム貸会議室お茶の水・山の上ホテル 「世界に飛躍する日本の科学技術―産学の明日を考える―」 [第 I 部 講演] 基調講演(1) 富士フィルムの第二の創業と有機合成化学の底力（富士フィルム）柳原直人 基調講演(2) 基礎研究からイノベーションへ（東大院理）菅裕明 [第 II 部 賛詞交換会] 共催：有機合成化学協会関東支部	77(0)
2024 中堅・若手リーダーのための YUGOKAFe[ユウゴウカフェ](講演 & 討論会)；10/4；早稲田大学リサーチイノベーションセンター/コマツ 100 周年記念ホール・会議室 [第 I 部：講演] 1.認知症創薬に懸けた 25 年～襷を繋ぐ使命～（エーザイ）木村禎治 2.素晴らしい仲間たちと一緒にみる果てしない夢（東大院薬）金井求 [第 II 部：グループ討論] [第 III 部：情報交換・交流会]	58(0)
学生のためのセミナー（企業の若手研究者との討論・交流会）・第 9 弾；10/19；オンライン 1.パネラーのプレゼンテーション (1)内田貴久（第一三共），(2)儀間真也（ダイセル），(3)黒内寛明（中外製薬），(4)高見芳恵（三菱ケミカル），(5)高田佳明（富士フィルム），(6)増本優衣（村田製作所） 2.ブレイクアウトルーム懇談会 3.全体総括	76(76)
「ニューモダリティと有機合成化学」第 3 回公開講演会；5/21；大阪科学技術センター 1.生体内合成化学治療（東工大物質理工/理研）田中克典 2.ペプチド-薬物複合体の新展開と有機合成化学の貢献（ペプチドリーム）舩屋圭一 3.バイオマテリアルの定義と今後の可能性について考える（京大院医）田畑泰彦 4.mRNA 関連創薬の理論と実際（Veritas In Silico）中村慎吾	65(5)
「AI と有機合成化学」第 5 回公開講演会；11/13；早稲田大学リサーチイノベーションセンター/コマツ 100 周年記念ホール 1.製造業におけるデータサイエンス・AI の実践活用に向けたスキルアップー Materials Informatics を例にー（日立製作所）高原渉 2.有機合成における化学情報学的手法開発（奈良先端科技大）宮尾知幸 3.自律駆動型研究を支援するソフトウェアの開発と応用事例（物質・材料研究機構(NIMS)）田村亮 4.AI とシミュレーションが駆動する分子設計（東京科学大）大上雅史	118(38)

表 6・7 令和 6 年度事業報告（その 7）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【本部】のつづき	
前ページのつづき 5. 情報科学と自動合成ロボットを活用した有機合成化学実験の効率化／自動化／自律化 （北大(ICReDD)）長田裕也 ・ランチョンセミナー；企業展示 6 社	
懇談会【関東支部】	
有機合成化学ミニシンポジウム①；4/24；東京理科大学 1. 個性的な原子：フッ素を含む化合物の合成（理研）袖岡幹子	88(74)
有機合成化学ミニシンポジウム②	中止
有機合成化学ミニシンポジウム③(ミニシンポジウム千葉 2024)；11/22；千葉大学 1. スルフィンアミドの位置選択的変換反応を利用した光学活性硫黄化合物の不斉合成 （東農工大院工）加納太一 2. 製薬企業における合成（マルホ）井上隆幸 3. 分解リサイクル可能なバイオベースポリマーの設計・創製とケミカルリサイクル（都立大院理）野村琴広	76(52)
有機合成化学ミニシンポジウム④(ミニシンポジウム多摩 2024)；12/14；武蔵野大学 1. 空間的な原子(団)の移動を起点とする分子構築（東農工大院工）森啓二 2. 固体触媒開発における有機分子の表面吸着現象の活用（東京工科大工）原賢二 3. 天然物合成における 2 つのアプローチ（日大文理）早川一郎	103(68)
2024 学生シンポジウムーいつでも会える、聞ける、討論できるー；11/9；東京農工大学 1. 立体配座の動的制御による糖質化合物の合成（東京農大生命科）若森晋之介 2. 電気を使った有機合成：有機電解合成の可能性（横浜国大院工）信田尚毅 3. 高速脱水縮合反応の開発と応用ならびに臨床試験を目指した全合成研究（東理大理）椎名勇 4. ケミカルメディシン～化学に基づく新たな医療技術創製～（東大院薬）浦野泰照	151(136)
第 19 回有機合成化学談話会(三島セミナー 2024)；12/20-21；東レ三島総合研修センター 1. 物理有機化学へのいざない～機構から反応をリデザインする（第一三共）折戸裕哉 2. もっと便利に使いたい！ジアソエステルの化学（工学院大先進工）安井英子 3. 化学構造に埋め込まれた生物活性を彫り出す（東大院薬）大和田智彦 ポスター発表 6 件	19(7)
懇談会【東海支部】	
訪日学者講演会；4/22；名古屋大学 Structure modification of natural products to new bioactive analogs (Burapha University, Thailand) Prof. Rungnapha Saeeng	41(36)
訪日学者講演会；6/5；名古屋工業大学 New Tools for Accessing Fluorinated Molecule (Department of Chemistry, The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong) Dr. Gavin Chit Tsui	26(21)
訪日学者講演会；7/17；名古屋大学 Cu/Chiral Anionic Ligand-Catalyzed Enantioselective Radical Reactions (SUSTech, China) Prof. Dr. Xin-Yuan LIU	25(18)
訪日学者講演会；9/12；名古屋大学 A Powerful Way to Make Fluorinated Organic Compounds- Hypervalent Iodine Reagents Can (Nankai University, China) Prof. Dr. Chi ZHANG	76(70)
訪日学者講演会；10/16；岐阜薬科大学 Catalytic Precise synthesis of Polydeuterated compounds (Wuhan University) Prof. Wu Li	38(38)
訪日学者講演会；10/16；岐阜薬科大学 ※中止 Highlights from Isotope Chemistry to accelerate Drug Discovery (Sanofi Germany -R&D, Integrated Drug Discovery) Dr. Volker Derdau	中止

表 6・8 令和 6 年度事業報告 (その 8)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【東海支部】のつづき	
訪日学者講演会；11/12；岐阜薬科大学 Invention of world's top-selling drug (Eliquis) leading to invention of Chan-Lam coupling reaction (Baruch S. Blumberg Institute Philadelphia, USA) Prof. Patrick Y-S. Lam, PhD	32(25)
懇談会【関西支部】	
有機合成新春講演会；1/22；大阪科学技術センター 1. キュバンクネアン-セミフルバレン-AI (京大院工) 松原誠二郎 2. 新奇な構造をもつ有機 π 電子系化合物の合成に魅せられて (兵庫県大院工) 川瀬毅 3. 基質の反応性を利用した新規炭素環ヘテロ環合成反応の開発 (奈良教育大) 山崎祥子	45(1)
セミナー化学千一夜“明日の化学への夢を語ろう”；6/22-23；センチュリーホテル リゾート&スパ テクノポート福井／旭化学工業(株)福井工場 1. リン不斉化合物合成法の課題と有機触媒を活用する新展開への取り組み (早大国際理工セ) 山本佳奈 2. 速度論的制御によりつくられる超分子金属錯体 (名大院工) 酒田陽子 3. 創薬化学現場における自動合成 そして、その少し先に向けて (小野薬品工業) 木下淳 4. 個人型化学製造業の未来予想図 (阪公立大／台湾陽明交通大) 柳日馨 5. 放談会「創薬を意識し環境に優しい精密合成研究に魅了された 57 年」(立命館大総合科学／阪大名誉) 北泰行 6. 見学会「旭化学工業(株)福井工場」 7. 夢から現実！？天然物合成の力で砂漠を緑地化する！(徳島大院薬) 難波康祐	33(4)
懇談会【中国・四国支部】	
有機合成ミニシンポジウム 2024 (香川)；1/27；香川大学 1. エキシマーの立体制御に基づく円偏光発光色素開発 (岡山大) 高石和人 2. 液晶における分極場の形成と光電子・電気化学機能 (香川大) 舟橋正浩 3. 環状オリゴ糖の電解合成 (鳥取大) 野上敏材 4. 有機合成手法による金属錯体の精密合成: 面不斉遷移金属錯体の不斉合成と応用 (徳島大) 小笠原正道	48(34)
第 83 回パネル討論会；5/18；広島大学；「新しい π 共役系の科学」 1. スマネン科学の過去、現在、そして未来 (阪大院工) 櫻井英博 2. Beyond π -conjugation - 分子間の電子共役 (名大院工) 忍久保洋	68(29)
第 84 回パネル討論会；11/8；高知工科大学；「美しき天然物全合成の化学」 1. 環境問題に貢献する天然物合成 (徳島大院医歯薬) 難波康祐 2. 環をつくる: 多環式天然物の合成研究 (名大院創薬科学) 横島聡	71(67)
来日学者講演会；3/8；岡山大学 Mechanisms and the Role of Lewis Acids in Organotransition Metal Catalysis (Mahidol University, Thailand) Prof. Panida Surawatanawong	47(37)
来日学者講演会；3/11；徳島大学 New Tools for Accessing Fluorinated Molecules (The Chinese University of Hong Kong) Prof. Chit Tsui	11(9)
来日学者講演会；3/13；岡山大学 New Tools for Accessing Fluorinated Molecules (The Chinese University of Hong Kong) Prof. Chit Tsui	42(30)
来日学者講演会；4/17；岡山大学 Prototypes of Molecular Motors, Winches and Gears (University Toulouse III Paul Sabatier, France and Nara Institute of Science and Technology, Japan) Prof. Gwénaél Rapenne	52(42)

表 6・9 令和 6 年度事業報告（その 9）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【中国・四国支部】のつづき	
来日学者講演会；4/18；岡山大学 Glycosidation Reactions for the Synthesis of Bioactive Sugar-Modified Analogs (Burapha University, Thailand) Prof. Rungnapha Saeeng	67(59)
来日学者講演会；4/18；徳島大学 Structure Modification of Natural Products to New Bioactive Analogs (Burapha University, Thailand) Prof. Rungnapha Saeeng	23(17)
来日学者講演会；5/14；岡山大学 Molecular diversity creation through charge-driven reactivity in superacid (University of Poitiers, France) Prof. Sébastien Thibaudau	77(65)
来日学者講演会；5/15；岡山大学 Nickel Phosphite Precatalysts for C-S C-C and C-N Bond Formation (University of Western Australia, Australia) Prof. Scott Stewart	70(61)
来日学者講演会；8/23；広島大学 Mechanistic and Preparative Aspects of the Suzuki-Miyaura Cross-Coupling Reaction (University of Illinois Urbana-Champaign, USA) Prof. Scott E. Denmark	74(64)
来日学者講演会；8/26；広島大学 Facile Access to Chiral Phosphorus Compounds via Transition Metal-catalyzed Asymmetric Hydrophosphination (Hong Kong Baptist University) Prof. Jun (Joelle) Wang	11(6)
来日学者講演会；10/25；岡山大学 Continuous Flow Technology for Innovative Organometallic, Photo-, and Electrochemical Process (The University of Rouen Normandy, France) Dr. Laëticia Chausset-Boissarie	60(51)
第 21 回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム；12/5-6；広島大学 口頭発表 (A) (20 分)、口頭発表 (B) (15 分)；学生発表件数 9 件 主催：ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会	50(39)
懇談会【九州・山口支部】	
第 1 回有機合成化学講演会；5/24；九州大学病院視聴覚ホール・オンライン併用 1.人工光合成～光触媒を用いたグリーン水素製造～（三井化学）林利生 2.分子骨格内部を探索空間とする新規 π 共役分子の創出（名大院工）福井識人	86(54)
第 61 回化学関連支部合同九州大会；6/29；北九州国際会議場 【有機化学講演】 キラル二官能性有機カルコゲン触媒の開発に至る経緯と展開（長崎大総合生産）白川誠司 招待講演：8 件；ポスター発表 628 件；有機化学 93 件 主催：化学関係九州支部 担当：高分子学会九州支部	-(-)
来日学者講演会；5/10；九州大学筑紫キャンパス 1.New Adventures in Synthesis and Application of Silicon-Stereogenic Silanes (Shenzhen Grubbs Institute and Department of Chemistry, Southern University of Science and Technology) Prof. Chuan He 2.Between Frustration and Cooperation: Ring Formation and Dihydrogen Release in Silicon-Based Systems (Universität Regensburg) Prof. Jonathan O. Bauer	63(47)
見学会	
本部；実施なし	
九州山口支部；(株)同仁化学研究所；9/26	24(6)
公 2 関連会議	
【本部】 有機合成化学協会事業委員会；5 回(3/12,5/10,7/11,10/1,12/9)；化学会館他・オンライン併用 第 124 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；1 回(5/10)；化学会館・オンライン併用 第 125 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；1 回(7/11)；化学会館・オンライン併用	

表 6・10 令和 6 年度事業報告（その 10）

事業の名称および事業の概要		担当機関
公2 関連会議 のつづき		
前ページのつづき 中堅・若手リーダーのための YUGOKAFé 企画委員会；2 回(8/5,9/30)；オンライン 学生のためのセミナー企画委員会；2 回(10/12,10/16)；オンライン 「AI と有機合成化学」研究部会/幹事会；2 回(2/29；オンライン,7/25；ワイム貸会議室)；公開講演会 WG;1 回(8/30；オンライン) 「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会/幹事会；1 回(1/31；化学会館)；勉強会企画会議；1 回(3/27；オンライン)；公開講演会 WG;1 回(2/7；化学会館) 【関東支部】 第 40 回有機合成化学セミナー組織・実行委員会；5 回(5/13,6/20,8/1,8/6,11/11)オンライン併用 学生シンポジウム企画委員会；1 回(7/18；工学院大) 有機合成化学談話会 WG；1 回(7/12；オンライン)		
公3. 表彰事業		
有機合成化学特別賞の選考と受賞者(1 件採択)		
理事による候補者推薦；6～8 月郵便による投票		理事会
理事によって推薦された候補者からの受賞者選考；10/10；オンライン ●中川昌子（千葉大学名誉教授）業績：創薬基礎科学に向けた有機合成化学への貢献 表彰式・受賞講演(R7 年 2/18)		賞選考委員会
有機合成化学協会賞・奨励賞の選考と受賞者(協会賞：3 件；奨励賞：5 件採択)		
各支部推薦委員会；～7 月 奨励賞書面審査；実施 協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会；10/9～10/10；オンライン 【有機合成化学協会賞(学術的なもの)】 ●大熊毅（北海道大学） 業績：独自のルテニウム錯体触媒を用いる不斉水素化反応とシアノ化反応の開拓 ●椎名勇（東京理科大学） 業績：高速脱水縮合法の開発と解析ならびに生体機能性分子創製への応用 【有機合成化学協会賞(技術的なもの)】 ●中島裕美子（東京科学大学） 業績：新規ヒドロシリル化触媒の開発および高機能有機ケイ素材料合成への応用 【有機合成化学奨励賞】 ●太田英介（早稲田大学） 業績：ジルコセンと可視光レドックス触媒を利用した触媒的 σ 結合活性化の開拓 ●菅拓也（金沢大学） 業績：低原子価チタンを用いた不活性 C-O 結合ホモリシスの実現と有機合成反応への応用 ●仙波一彦（京都大学）業績：遷移金属協働触媒による高効率クロスカップリング反応の開発 ●土戸良高（東京理科大学） 業績：Au(I)-C 結合を利用したシクロパラフェニレン類の革新的合成法の開発 ●溝口玄樹（岡山大学）業績：ホウ素アート錯体の特性を活かした分子構築法の開発 表彰式(R6 年 2/15) 受賞講演：協会賞(学術的なもの：R7 年 2/18；技術的なもの：日時未定) 奨励賞(R7 年 9 月)		賞選考委員会
Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択)		
Mukaiyama Award 委員会；2025 受賞者選考委員会 8/7；オンライン ●大松亨介（慶大理工） Contributions: Research led by Ohmatsu has focused on designing ionic molecular catalysts to address challenges in synthetic organic chemistry. By leveraging the unique properties of ionic organic molecules to construct chiral architectures, a novel strategy for catalyst design has emerged, enabling previously difficult asymmetric transformations. The concept of photocatalytic reactivity of ions has created a groundbreaking platform for both innovative reaction development and complex molecule synthesis.		Mukaiyama Award 委員会

表 6・11 令和 6 年度事業報告（その 11）

事業の名称および事業の概要	担当機関
Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択) のつづき	
前ページのつづき ●Guangbin Dong (Department of Chemistry, University of Chicago, USA) Contributions: Research in the Dong group focuses on developing new and synthetically useful transformations. First, his team explores catalytic C-C bond activation as a useful tool for constructing or modifying complex molecular skeletons. Additionally, Dong is a leading contributor to the palladium/norbornene catalysis, which enables site-selective arene functionalizations and carbonyl transposition. Moreover, the Dong group has pioneered new activation modes for functionalizing C-H bonds of carbonyl compounds. Finally, his work in boron chemistry lays the foundation for programmable organic synthesis. 表彰式・受賞講演 ; R7 年 9 月	
Lectureship Award	
【2023 年度 受賞講演会】1/26 ; 大阪科学技術センター／オンライン(Zoom) ; 関西支部 「Recent Adventures in Catalysis and Beyond」Bill Morandi (ETH Zürich, Switzerland) 受賞日 ; R5 年 9/20	57(0)
●Hans Renata (Rice University, USA) Combining Synthetic Chemistry and Biology for Streamlining Access to Complex Molecules 受賞日 ; R6 年 9/19, 表彰式・受賞講演 ; R6 年 9/19 ; 第 40 回有機合成化学セミナー	-(-)
企業冠賞の選考と受賞者(各 1 件、合計 3 件採択) ; 書面審査(郵便 ; ~11/20)	
【東ソー・環境エネルギー賞】 ●鷹谷 絢 (大阪大学) 業績 : 環境調和型分子変換を可能にする新触媒開発 【日産化学・有機合成新反応／手法賞】 ●三浦 智也 (岡山大学) 業績 : 可逆反応と不可逆反応を組み合わせたワンポット反応の開発と機能性分子の創成 【富士フイルム・機能性材料化学賞】 ●吉沢 道人 (東京科学大学) 業績 : 芳香環カプセルを活用した多機能空間材料の開発 表彰式(R7 年 2/18) ; 受賞講演(R7.日時未定)	企業冠賞 選考委員会
高砂香料国際賞「野依賞」関連	
野依賞委員会 ; 2024 受賞者選考委員会 8/7 ; オンライン	
●Thorsten Bach (Professor of Organic Chemistry, School of Natural Sciences and Catalysis Research Center, Technische Universität München) Professor Bach is the pioneer of enantioselective photochemistry and one of the leading experts in the field. He and his group showed successfully that chirality can be introduced by photochemical transformations, both in a stoichiometric and a catalytic sense. By using hydrogen bonding interactions, a temporary chiral confinement was created in which photochemical reactions proceeded with high enantioselectivity. Bach established the use of chiral Lewis acids for catalytic photochemical reactions, and he successfully devised chiral sensitizers as catalysts for visible light-induced asymmetric photochemistry. In recent years, he demonstrated that photochemistry can be employed to convert racemic mixtures into single enantiomers (photochemical deracemization) employing either a selective triplet energy transfer or a reversible hydrogen atom transfer as vehicle to facilitate the counter-thermodynamic process. His creative ideas and his ground-breaking research accomplishments have taken photochemistry to the next level of complexity. 表彰式・受賞講演 ; R7 年 2/18	野依賞 委員会

表 6・12 令和 6 年度事業報告（その 12）

事業の名称および事業の概要		担当機関
支部表彰		
【東北支部】 第 39 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー賞；12/23；東北大学・オンライン併用 15 分講演の部；佐藤瞭（東北大院農），Osama Mohamed（東北大院薬） ショートトークの部；菅野雄亮（東北大院薬），宮内元睦（東北大院工）		-(-)
【関西支部】 第 22 回（2024 年度）有機合成化学協会関西支部賞（受賞者の選出） 1.ロジウム触媒 C-C 結合形成反応を鍵としたヘテロ環の構築と含フッ素ヘテロ環の薬学的応用（摂南大薬）佐藤和之 2.ヘテロ元素を活用した安定な開殻 π 電子系分子の合成と機能展開（滋賀県大工）加藤真一郎 3.n 型有機半導体材料を指向した π 共役ネットワークの短段階合成と物性解明（阪工大工）村田理尚		-(-)
【中国・四国支部】 有機合成化学特別講演会「支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会」；11/9；岡山大学 1.支部奨励賞受賞講演； 対アニオンの構造に着目した配位重合触媒系の開発（広島大）田中亮 2.特別招待講演 樹脂分解触媒の開発とケミカルリサイクルへの展開（東大）野崎京子		86(52)
【九州・山口支部】 第 34 回万有福岡シンポジウム；5/25；九州大学；支部ポスター賞（2 名） 主催：万有福岡シンポジウム組織委員会		-(-)
【九州・山口支部】 支部各賞選考委員会；5/23；九大・オンライン併用 第 2 回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式；9/25；熊本大・オンライン併用 奨励賞：2 件 1.アルキンの特性を活用した効率的分子変換法の開発と機能性分子の創製（九大先導研）河崎悠也 2.ハロゲン元素の酸化還元特性を基盤とした酸化的分子変換法の開発（長崎大院医歯薬）山本耕介 優秀論文賞：1 件 3.連結部編集による新規擬糖鎖の創生戦略（九大院薬）寄立麻琴 招待講演：2 件 4.分子設計で挑む有機伝導体の新物質群創製と機能開拓（熊本院先端科学）上田顕 5.分析試薬と有機化学（同仁化学研究所）石山宗孝		77(37)
他 1・共益事業		
ゆうごう会		
ゆうごう会（東京；大阪）		中止
海外視察団派遣		
海外視察団派遣；実施なし		
技術アドバイス事業		
技術アドバイス事業；申請なし		
研究企画賞		
研究企画賞選考委員会；11/15；オンライン；23 件採択		研究企画賞 選考委員会
●味の素研究企画賞：森崎一宏（北海道大学） 不斉触媒を用いずに天然 L-アミノ酸から α 位四置換非天然アミノ酸を不斉合成する新手法の開発 ●カネカ研究企画賞：河内元希（東北大学） 有機分子触媒を用いた真菌感染症治療薬 Amphotericin B の合成と腎毒性の低減した誘導体の探索 ●関東化学研究企画賞：Li Feng（北海道大学） セルロース由来原料を用いた循環型機能性多糖類材料の開発 ●コニカミルタ研究企画賞：服部倫弘（中部大学） シラサイクリック化合物を基軸とした収束型オリゴペプチド合成と触媒的ペプチド環化反応の確立		

表 6・13 令和 6 年度事業報告（その 13）

事業の名称および事業の概要		担当機関
研究企画賞のつづき		
前ページのつづき ●塩野義製薬研究企画賞：岡本一央（富山大学） イナミンの電気化学的活性化に基づく小・中員環 sp^3 骨格の直接的合成 ●四国化成工業研究企画賞：増田侑亮（北海道大学） ビニル化トリアダマンチルホスフィンの合成と利用 ●第一三共研究企画賞：小嶺敬太（長崎大学） 脳卒中による重篤な後遺症を防ぐリード天然物の創薬展開を志向した高効率かつ網羅的合成 ●ダイセル研究企画賞：有地法人（京都大学） 可視光誘起エネルギー移動により生成する三重項ナイトレンの新規反応性の開拓 ●田辺三菱製薬研究企画賞：東田皓介（京都大学） アルキンの触媒的変換反応における触媒量の極小化を目指した新規金錯体触媒の開発 ●中外製薬研究企画賞：松本晃（金沢大学） イリド構造を基盤とするデザイン型ラジカル触媒の創製と立体化学編集法の開発 ●DIC 研究企画賞：森達哉（名古屋大学） 励起状態における配位数変化に立脚した三配位ホウ素 π 電子系の円偏光機能開拓 ●帝人ファーマ研究企画賞：齊藤誠（微生物化学研究会） ピンサー型ニッケル錯体を触媒に用いた新規光学活性フルオロシクロプロパン合成法の開発 ●東ソー研究企画賞：佐藤亮太（徳島大学） 可視光スイッチング連続反応」を利用した含窒素 π 共役系の迅速拡張法の開発とその応用 ●東ソー・ファインケム研究企画賞：田湯正法（明治薬科大学） 光レドックス反応で生じるスルフィドラジカルカチオンを利用した生体共役反応の開発 ●日本触媒研究企画賞：田中耕作三世（北海道大学） パーチャルホスフィン配位子法が先導する高活性光励起パラジウム化学の開拓 ●日本農薬研究企画賞：安井基博（京都工芸繊維大学） アゾール類の付加環化反応に基づく新奇ヘテロ環合成 ●富士フイルム研究企画賞：阿野勇介（近畿大学） カルバニオンの触媒的発生を利用したレアメタルフリーC-H 官能基化法の開発 ●富士フイルム和光純薬研究企画賞：鳥越尊（京都工芸繊維大学） 触媒設計が拓く医薬品のアルキル基修飾 ●保土谷化学工業研究企画賞：吉野達彦（京都大学） Non-Directed C-H 活性化のための新規触媒開発 ●三井化学研究企画賞：前島咲（京都大学） 光触媒からのエネルギー移動を利用した三重項 - 低原子価化学種の発生法の開発 ●三菱ガス化学研究企画賞：山本浩司（就実大学） 高輝度な円偏光発光材料を志向した BN ヘリセンの網羅的合成と構造-物性相関の解明 ●三菱ケミカル研究企画賞：加藤研一（京都大学） 掌性と高い対称性を併せ持つ立体 π 骨格の合成効率化とキラル構成単位への展開 ●Meiji Seika ファルマ研究企画賞：小椋章弘（慶應義塾大学） アザ-オキサ Cope 転位を駆使する分野横断的な自在な複素環合成戦略	研究企画賞 選考委員会	
法人運営関連会議		
本部関連		
第 87 回通常総会(定期社員総会；2/15；如水会館)		
運営委員会・理事会(1/26, 2/15, 4/18, 6/18, 9/6, 12/4)；化学会館,如水会館,ワイルド会議室・オンライン併用		
内閣府公益認定等委員会立入検査(11/27)；化学会館		
令和 7 年度役員候補者選出委員会(10/25)；オンライン		

表 6・14 令和 6 年度事業報告（その 14）

事業の名称および事業の概要	担当機関
支部関連	
【全支部】 支部キャラバン(会長訪問・意見交換会)：隔年実施 東北 6/8；関東 10/22；九州山口 5/24（未実施；北海道，東海，関西，中国四国）	
【北海道支部】 幹事会；1 回（7/13；北海道大学）	
【関東支部】 支部常任幹事会；4 回(4/24, 7/9, 10/22, 12/17)オンライン併用、支部幹事会；2 回(4/24, 10/22)オンライン併用 関東支部候補者推薦委員会；7/9；オンライン併用 協会賞等支部推薦委員会；7/9；オンライン併用	
【東海支部】 常任幹事会(2/17；名古屋・オンライン),支部奨励賞選考委員会(5 月；メール会議),協会賞等支部推薦委員会(7 月；メール会議),支部総会(11/2；名古屋工業大学)	
【関西支部】 幹事会；4 回（4/2, 5/29, 11/27；大阪科学技術センター, 7/30；(株)日本触媒 吹田地区研究所)	
【中国・四国支部】 幹事会・懇話会合同会議；2 回（5/18 広島大, 11/9 岡山大）	
【九州・山口支部】 事務引継会（2/5 九州大・オンライン併用） 幹事会；2 回（5/24 九州大・オンライン併用, 9/25 熊本大・オンライン併用）	

事業報告附属明細書

令和 6 年度事業報告には「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。